

社会教育指導員を設置するための経費の一部を補助し、市町村における社会教育指導層の充実を図る。

(2) 補助金の額

補助対象経費の3分の2以内（1人につき月額36,000円を限度とする。）

(3) 設置数

教務所	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
人数	18	18	12	18	7	12	3	88

## 6 社会教育主事の市町村派遣

(1) 趣 旨

県が市町村社会教育行政を補完協力するため、市町村教育委員会の求めに応じて、社会教育主事を派遣し、市町村社会教育の振興を図る。

(2) 派遣先市町村及び社会教育主事

管 内	市町村名	氏 名	派遣年度
県 北	飯野町	大竹英智	55
	大玉村	渡辺弘雄	"
	大東和町	村上信光	"
	岩代町	渡辺昭	56
県 中	国見町	渡辺正誼	57
	船引町	中目貞夫	55
	岩瀬村	萩川傳次	"
	長沼町	加藤恭二	"
県 南	郡山	渡辺貞雄	56
	滝根町	細谷道雄	"
	都路村	榊原久雄	"
	矢祭町	星輝明	54
会 津	大信村	増淵弘志	55
	表郷村	遠藤徹郎	56
	泉崎村	小森勇	57
	会津高田町	玉川圭佑	55
南 会 津	熱塩加納村	菅井誠	"
	本郷町	弓田忠男	"
	三島町	平野久英	"
	磐梯川村	加藤昭一	56
相 双	湯川村	室井英彦	"
	館岩村	山内卓雄	56
い わ き	松枝岐村	星佐益	57
	広野町	郡司正孝	55
	小高町	佐藤隆昭	"
	川内村	渡部健次郎	56
い わ き	葛尾村	中澤満	"
	飯館村	蛭田満	57
い わ き	いわき市	横山輝弥	56

## 7 みどり号の巡回

(1) 趣 旨

各市町村教育委員会の申請に基づいて、県内各地を巡回し、広く社会教育の諸問題について協議をし、市町村社会教育の振興充実に資する。

(2) 対 象

市町村社会教育行政関係職員、社会教育関係団体会員、学習者代表

(3) 内 容

巡回市町村の計画による。

管 内	期 日	巡 回 市 町 村	参加者数
県 北	昭和57年 7月9日(金) 9月20日(月) 11月12日(金) 11月16日(火) 12月1日(金)	東和町、霊山町、桑折町 伊達町、岩代町	165
	昭和57年 10月27日(木)、10月28日(金) 11月15日(月) 11月17日(水)～19日(金)	古殿町、小野町、都路村 郡山市(中央地区、中田地区、西田地区、富久山地区)	297
県 南	昭和58年 2月2日(水)～3日(木)	棚倉町、塙町、鮫川村	80
会 津	昭和57年 11月9日(水)～12日(金)	会津坂下町、北会津村、昭和村、金山町	104
南会津	昭和57年 8月3日(火)～5日(木)	只見町、南郷村、伊南村 松枝岐村、館岩村	199
相 双	昭和57年 8月20日(金)、10月22日(金) 11月26日(金)	鹿島町、飯館村、葛尾村	73
い わ き	昭和57年 7月19日(月)～21日(水)	いわき市(平地区2、磐崎地区)	87

## 8 社会教育職員研修派遣

(1) 昭和57年度文部省委嘱東北大学社会教育主事講習

① 目 的

社会教育法第9条5の規定及び社会教育主事講習規程に基づき、社会教育主事となり得る資格を与えることを目的とする。

② 主 催

東北大学教育学部

③ 期間、参加者数

ア 期 間

昭和57年6月29日～8月17日

イ 参加者数

市町村教育委員事務局社会教育担当受講資格者、県内小・中・高校教員受講資格者等44名

(2) 国立社会教育研修所専門講座

① 趣 旨

社会教育に関する専門的事項について研修を行い、社会教育関係職員の資質の向上を図る。

② 主 催

国立社会教育研修所